

議員提案よるに意見書

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書

提出者 寄定 秀幸 賛成者 小川 清治

「薬害C型肝炎救済特別措置法」、「特定B型肝炎感染者への給付金等支給特措法」が設立し、裁判を通じて補償・救済される仕組みができた。しかしカルテや明確な証明が必要なため、裁判により救済されるのはほんの一握りに過ぎない。

注射器の使い回し、輸血、薬害によるB型肝炎・C型肝炎患者に対して、国が感染被害を償い、いつでも、どこでも安心して治療を続けられるために、肝炎治療と命を支える公的支援制度を確立することが求められている。そこで、次の事項について速やかに必要な措置を講じ、ことを強く要望する。

- 一、肝炎対策基本法に基づき患者救済に必要な法整備、予算化を進め、B型・C型肝炎患者が適正な救済が受けられることを旨とした救済策を実施すること。
- 二、肝炎治療薬、検査費、入院費への助成をはじめ、肝炎治療費への公的支援制度を確立するとともに、肝硬変、肝ガン患者への障害者手帳の交付基準を改善し、肝炎対策基本法が定めたB型肝炎・C型肝炎による肝硬変、肝ガン患者への特別な支援策を講じること。
- 三、治療体制・治療環境の整備、治療薬・治療法の開発、治験の迅速化などを図ること。
- 四、肝炎ウイルス未検査者、ウイルス陽性者の未治療者の実態を調査し、早期発見・早期治療につなげる施策を講じるとともに、B型C型肝炎による死亡者一時金、感染者・患者には健康管理手当・支援金を支給する法制度の確立によって、感染被害が報われ、持続的に治療が続けられる環境を整備すること。

(抜粋)

平成24年12月議会主な議案に対する議員の賛否一覧表 賛成○ 反対× 欠席 欠

	補正予算		医療従事者育成奨学金貸付条例	医療従事者育成奨学金基金条例委	副町長の選任同意	監査委員の選任同意	B・C型肝炎患者の救済に関する意見書
	一般会計	特別会計					
議長 木野山孝志	—	—	—	—	—	—	—
副議長 小川 清治	○	○	○	○	○	○	○
議員 片山元八郎	○	○	○	○	×	○	×
藤田 晃己	○	○	○	○	○	○	○
村上 克朗	○	○	○	○	○	○	○
松本 彰夫	○	○	○	○	○	○	○
丸山 達夫	○	○	○	○	○	○	○
寄定 秀幸	○	○	○	○	○	—	○
久保田龍泉	○	○	○	○	○	○	○
橋本 輝久	○	○	○	○	○	○	○
横尾 正文	○	○	○	○	○	○	○
妹尾幸太郎	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
横山 素子	○	○	○	○	○	○	○
赤木 俊二	○	○	○	○	○	○	×

総務文教常任委員会

12月定例会中において、委員会付託された請願などを審査し報告しました。

○国道182号線来見小学校校入口付近道路拡張について

採択

入口付近の幅員が狭く、スクールバス等の車両が離合困難である。また急な坂道で、冬季は凍結し危険であり改良すべきである。

○常設グラウンドゴルフ場の移設について

継続審査・調査

統合中学校建設期間中は、現シルトピアグラウンドの一部や、油木小グラウンドも使用可能であるが、他団体との使用口の調整が必要である。

○どんぐり幼稚園運営補助金について

採択

園児減少傾向の状況下で経営努力はしているが、非常に厳しい運営をしている。地域的に必要な施設であり、支援する必要がある。今後、町全体の保育所、幼稚園のあり方について、子供・子育て会議などの創設を議論すべきである。

○西油木ライスセンターの移設について

継続審査・調査

生徒及び近隣住民にどのような健康などの被害が想定されるのか、また技術的に粉じんを抑え込む防じん対策を研究すべきである。

産業建設常任委員会

○町営水道への編入について

採択

合併時以降において、各水道施設管理者に意向を打診し、各施設管理区分を決定しているところであるが、町水道事業として維持管理するために足りる諸条件が満たされていることが必要である。今後要望される施設についても条件整備に必要な経費等も勘案され、移管替えを要望する。

○国道182号線来見小学校校入口付近道路拡張について

採択

調査の結果、総務文教常任委員会の所管事務であることが判明したため、同委員会へ回付した。



現地調査状況 (来見小入口)



審査状況